

公益社団法人宇都宮青年会議所  
2014年度 第1回 理事会

日 時：2014年 1月 28日（火）19：00～22：00

場 所：コンセーレ バンケットホール

出席者：

- ( 理 事 長 ) : 村上(敬称省略 以下同)  
( 直 前 理 事 長 ) :  
( 顧 問 ) :  
( 副 理 事 長 ) : 木村(英)、福田(之)、小瀧  
( 専 務 理 事 ) : 中島(崇)  
( 監 事 ) : 澤畑  
( 担 当 常 任 理 事 ) : 林  
( 全国大会招致会議議長 ) :  
( 会 員 拡 大 会 議 議 長 ) : 太城  
( 協働連携特別会議議長 ) :  
( 法令会計審査会議議長 ) : 廣田  
( 担 当 常 任 理 事 ) : 金  
( 事 務 局 長 ) : 橋本  
( 委 員 長 ) : 飯沼、新妻、豊崎、鈴木、木村(武)、中島(晴)、相馬  
( 副 議 長 ) : 宮林、安野、高松、山田、福田(弘)  
( 理 事 ) : 船見、青木、横島、梅田、岡田

1. 開会宣言 <中島(崇)> (役職名省略 以下同)
2. JCIクリード唱和 <横島>
3. JCIミッション唱和・JCIビジョン唱和 <豊崎>
4. JC宣言朗読並びに綱領唱和 <中島(晴)>
5. 関東地区宣言唱和 <相馬>
6. 出席者の確認 <橋本>  
出席理事27名／33名
7. 議事録作成人並びに議事録署名人の指名  
議事録：<総務委員会>  
議事録署名人：村 上 正 高  
黒 川 崇  
澤 畑 敦 史  
飯 野 貴 道
8. 前回議事録の確認 <中島(崇)>
9. 議題並びに資料の確認 <橋本>

まずは、定刻どおりお集まりいただいた皆様、そして、今年より諸会議が7時開会ということで、総務委員会の皆様には早い時間よりお集まりいただいたことに御礼申し上げます。本日非常に欠席が多いですが、ほぼ全員病欠となっております。皆さん京都會議でインフルエンザに感染してしまったということでありまして、特に山本顧問をはじめとする関東地区に出向しているメンバーはほぼ全滅ということですので。体調が微妙な人も実はお願いをして欠席いただきました。また福田直前も2時間ほど前に連絡をいただき非常に体調が悪いということでお休みいただきました。おととい京都會議から帰って来たわけですが、今回宇都宮JCから70名京都に行きましたが、本当に日本出向者、地区出向者におかれましては、宇都宮JCの権威を高める行動をしていただいておりますし、活躍する姿を目にしました。スポットライトのあたる場所でその担いを全うしていたことに本当に誇らしく思いました。京都會議の話はあとで触れさせていただきますが、1月色々とありますので時系列で話をさせていただきますが、まず10日に行われた新春交流会、こちら新妻委員長をはじめとする渉外員会の皆様本当にありがとうございました。対外の人に今年度の運動を発信でき、とてもいい交流会のお陰でメディア等からすでに取材、テレビの出演等色々な問い合わせをいただいております、豊崎委員長の情報発信委員会の皆様に対応していただいておりますので、所信にも書かせていただきましたとおりプランニングが重要でありますので私も理事長としてしっかりと対応したいと思っております。そして私と専務が中心で、他のLOMの賀詞交換会に今多数参加させていただいております。所信の表明というのは勿論他のLOMでもあるわけですが、とても刺激を受けます。私も所信を書かせていただくなかで、地域の事を考えて書かせていただきましたし、他のLOMの理事長の皆様もそれぞれの地域における問題点、そして未来をどう描いていくかビジョンの部分がしっかりと所信の演説にひしひしと伝わってきて、私もその刺激を受けながらも一度地域をみつめなおす機会をいただきました。昨日は伊達JCの新年会に木村委員長をはじめとする地域交流委員会と共に出席をさせていただきました。27名のLOMであったのですが、メンバー一人ひとりがきれいな目をしていまして、素直な心で地域を変えるのだと、すごい意気込みを聞き参加したメンバーは帰りの車の中で我々の方が学ぶことが多いのではないかと、そんなことを話しながら帰ってきました。これから1年間伊達JCの皆様と行動を共にする機会が多数ありますので、理事会構成メンバーの皆様をはじめできるだけ多くのメンバーと交流をしていきたいと思っております。これは所信にも書かせていただいておりますが、我々JCはそこで住み暮らす地域のことを思って活動しているわけですから、切磋琢磨していくことこそが我々の地域運動にとって最大のこととなります。今年はハワイもありますし、また、その他諸大会でも多くの人的交流を通じてこの地域をより輝かせていきたいと考えています。そして京都會議の話に戻りますが、京都會議で全国理事長パワーセッションというのがありました。これは理事長のみの参加ファンクションでありましたが、ここで歴代会頭の麻生副総理の講演があったのですが、麻生先輩ならではの漫画を切り口としたちょっと面白いお話がありましたので紹介させていただこうと思うのですが、麻生先輩は自分たち日本人の強みを知って、世界に日本人の素晴らしさを伝えていかなければならないというお話の中で漫画の話をしたわけですが、世界で日本の漫画が非常に人気があるその中で、ドラえもんのお話が出てきました。これは非常に日本人の精神性を表しているとのことですので。ドラえもんという漫画は、ロボットが人間を助ける話ですが、欧米でイメージされるロボットはロボットが人間を支配する切り口の話が多く、ここに日本人と欧米人の感覚の違いがあるということでした。ドラえもんの作者は我々日本人にロボットのコンセプトを伝えていまして、パソコンやロボットなど機械は我々を助けると当然のように思っていますが、それはドラえもんが植えたコンセプトで、何がいいかということと地域に置き換え、他の地域と我々の考え方が決してイコールではないということですので。どっちがよい悪いという話では

ないのですが、今年相互理解を通じて、世界をまとめる活動をしようという話もありますし、他を尊重し合いながら、よりよい解決策を導いていくことに通じるのではないかと思います。改めて漫画も馬鹿にできないと思いました。私も漫画が好きで漫画から学ぶこともあります。また私は本を読んで勉強するようにしていますが、沢山の本や漫画やコラムなど色々な人の考え方に皆さんも是非触れていただきたい。そして皆さんの幅を広げていただきたいと思います。我々は一人では自分を超えられないのです。他の人の考え方を素直な心で吸収することによって、自らが成長できる。そして成長した自分がこの地域をよりよい地域にしていく、これがJ Cの本質でありますので、そういったことを常日頃の生活で意識して生活をしていただければと思います。

結びになりますが、体調だけにはご留意していただき、これから事業が本格化してまいりますので、予防の意味でも大勢の人が集まる場所では是非マスクをしていただき、体調管理にはくれぐれもご注意いただきたいと思います。

## 1 1. 直前理事長挨拶

欠席のため割愛

## 1 2. 役員報告

- <金> 相互理解確立委員会において第1回の委員会を行い公開委員会として相互理解プログラムの実施をさせていただきました。各地の理事長をはじめ多くの皆様にご来場いただき相互理解プログラムの内容をみていただきました。また、宇都宮のメンバー、理事会構成メンバーもちろんのこと、多くの方々に来ていただき激励のお言葉をいただきました。
- <梅田> 日本J C総務委員会からですが、皆様京都会議にご参加いただき誠にありがとうございました。私はずっと裏方をやっていたもので、結局担当ファンクション以外はあまりわからなかったのですが、理事長にお越しいただき激励のお言葉をいただき、もっとやらなくてはいけないと感じました。
- <山田> 全国大会運営会議からですが、京都会議期間中には金曜日に小会議並びに全体会議を開催させていただきました。また土曜日には全国の主管に立候補されるL Oの皆様向けにブースを出店し、説明させていただきました。小瀧副理事長を筆頭に3月に広島で行われる対話集会、そして4月に八戸で行われる対話集会に向けて現在小会議を進めているところであります。
- <安野> 関東地区協議会では金曜日の地区ナイト、土曜日の会員会議所会議を合わせ、多くの宇都宮メンバーにご参加いただき、関東地区協議会2014年度がスタートしたというところです。これから関東地区協議会主催の色々な事業等々が展開されていきますので、今後も多大なるご協力の程、宜しくお願い致します。
- <船見> 会委員交流員会に出向しております船見です。この度の京都会議において第1回会員会議所会議の直前にありました関東地区大会主管締結式にて司会を務めさせていただきました。理事長をはじめたくさんの皆様にお越しいただきありがとうございました。

- <廣田> 今年度の事業計画書等の訂正を去年の25日に提出しております。まだ修正の方が来ておりませんのでこれから順次対応してまいります。2点目ですが資料の方配らせていただきましたが、平成24年度の事業報告の審査確認事項が今来ております。私の方で対応できるところは対応してまいります。当時の担当の鈴木先輩と連絡を取り合いながら対応している最中でございます。
- <太城> 2月18日に第1回公開委員会を行います。講師は金子裕司先輩をお呼びし、19時30分よりJCルームで行います。18年のJCでの経験をざっくばらんに話していただけたと思いますので、ビジターを多く呼びたいと思います。是非、ご協力おねがいします。
- <中島(崇)> 1月31日に第109回通常総会がございます。19時には丸治に皆様お越しいただけますよう宜しくお願い致します。つづきまして2月1日に栃木ブロックの第1回目の全体会議になります日光会議がございます。15時より日光東照宮の客殿で全体会議となっておりますのでご参加いただけるよう宜しくお願いいたします。続きまして来週2月の5日18時より会頭公式訪問がベルヴィにて開催されます。その後日本JCの皆様との懇親会も予定されておりますので、日光会議と会頭公式訪問につきましては渉外委員会より案内が行っていると思いますが、再度確認のご連絡をさせていただきますので、ふるってのご参加宜しくお願い申し上げます。そして初理事の皆さん対象で議案作成にあたっての講習会を理事長が講師となって開いていただけるということになりました。日時は事務方で検討中ですが決まり次第連絡致しますのでご参加ください。

### 13. 審議事項

審-01 2月 市長を囲む会 開催計画並びに予算(案)承認の件

審議資料に基づき、飯沼委員長より上程文の読み上げ。

- <廣田> 事前のアンケートがなくなったという事なのですが、法令会計審査の時の予算には反映されていますか。
- <中島(晴)> そこは削除しています。
- <村上> 事業目的についてこの例会のアンケートをとって検証するということだと思いますが、これで検証できますか。
- <中島(晴)> まちづくりに関する当事者意識を高める事を目的とするということで、アンケートに関しましては6番、7番のところでは当事者意識が高まったかどうかの検証ができると思います。
- <村上> 自信を持って検証できるということで宜しいですか。
- <中島(晴)> はい
- <村上> アンケートでいつも思うのですが、回収率が大切だと思います。アンケー

トをしてもらうその行為によってすでに当事者意識が高まると思います。本当に参加したメンバー全員にアンケートをしてもらう努力をしていただきたいと思います。そしてアンケートの結果からしっかりと分析をして報告議案につなげていただきたいと思います。

【採決】 全会一致 審議可決

<村上> 意気込みを理事の皆様にお聞かせください

<中島(晴)> 審議いただきまして誠にありがとうございます。毎年行っていることではございますが、宇都宮市長をお招きし、今年の方針であるまちづくりに関する市民協働、市民主導に対するJ Cメンバーの意識改革ということで、テーマを持って開催させていただきます。2月例会を通し今後の11月例会やほかの事業に関しても皆様のまちづくりに関する意識を変え例会等に参加していただければと思っています。是非よろしくお願い致します。

#### 審-02 新入会員認証取り下げ(案)承認の件

審議資料に基づき、太城議長より上程文の読み上げ。

<木村(英)> 去年もこのような取り下げ議案がありましたが、LOM全体で取り下げ議案がでないよう拡大だけでなくLOM全体でのフォローを今後とも宜しくおねがいします。

<村上> 一度取り下げた人が戻ってこないケースが過去ほとんどだと思いますのでしっかりとコミュニケーションをとりながらのフォローを今後もよろしくおねがいします。

【採決】 全会一致 審議可決

#### 1.4. 協議事項

##### 協-01 3月 全国大会招致セミナー 開催計画並びに予算(案)について

協議資料に基づき、福田副議長より上程文の読み上げ。

<中島(崇)> 初上程ということで何点か事前にご指摘させていただきたいとおもいます。まず参加員数計画ですが、先程の審議が可決となりましたので、人数を140名から138名へ変更してください。つづいて事業内容のところですが、講師選定理由のところは古河顧問になっており、選定になった理由の記載があまりと感じます。それから上程スケジュールの欄に誤字があります。理事長会を理事会へ変更してください。案内文で栃木ブロック内の理事長に出すのであれば、栃木ブロック会長にも出すべきだと思いますので、関東地区まで広げるかは検討してください。また文面の内容ですが、誘致会議、招致会議という文面の精査をする必要があります。最後に講演シナリオですが、講演の依頼事項となっていますので、依頼事項として参考資料に載せるようにしてください。講師の方へのLOMの情報が少ないと思いますので細かく伝

えるべきです。たとえば入会3年未満のメンバーが何人で何パーセントいるのかとか、全国大会に毎年何人くらい行っているのかなど、細かい情報を伝える方がよりよい講演に繋がるのではないかと思いますので、依頼事項に盛り込んだほうがいいかと思います。

<橋本> 意見ですが用語集のタイトルのところで「お越しになりましたビジター様へ」と書いてありますが、「お越しになりました方へ」でいいのではないのでしょうか。来てくださった方は自分がビジターといわれていることがわからない状況だと思います。

<福田(弘)> 委員会に持ち帰り精査いたします。

<飯沼> 審議対象一覧の7～9番、および参考資料一覧の4番をMS明朝の10Ptに訂正をお願いします。

<安野> 背景ですが途中の気がします。全員一致で取り組まなければならないからどうなるのかというところをもう少し考えてみてはどうでしょうか。それと目的ですが、何が必要か委員会では話をされているのでしょうか。何をめざすかを理解してもらうためには、まず委員会で理解しないとならないと思いますのでそこも書いてみたらいかがでしょうか。意見です。

<福田(弘)> 委員会内で話し合い議案に反映できるように致します。

<林> アンケートの件ですが、記述式の内容が多いかと思しますので5分で書ききれぬのかと思います。事前に配布をしたり時間を延ばすなどしたほうがいいのではないかとおもうのと、事前と事後とのアンケートの内容が同じ質問を繰り返しています。これで考え方が変わったというのをみたいのだと思いますが、これで本当に検証できるのか疑問がありますので、もう少し検討してみたいかがでしょうか。意見です。

<福田(弘)> 同じ質問は変化をみるので同じ質問にし終わってからならではの意見がきけるような質問にしていますが、今後委員会で詰めていきます。

<村上> 意見が出ない理由があると思います。それは講師任せなので、協議することができないのです。講師に何を話してもらうかが曖昧です。まだ講師も打診もまだな状況で協議すると、もし講師が変更になってしまった場合一から協議しなくてはならなくなってしまいますので、こういった場合は講師の許可をとっておかないと細かい設えがつかめていけなくなるので、講師任せにならない設えを委員会でしっかりと考えていくべきです。また、対外対象者なしとなっているが、栃木ブロック内の理事長とブロック会長は対外対象者になるのではないのでしょうか。他にも目的のところ宇都宮市がどのように変わるのかを意識することを目的といたしますとありますが、意識するだけでいいのですか。そのところも踏まえて議案を正副までに詰めて来てください。

## 協一〇二 姉妹JC交流事業（案）について

協議資料に基づき、木村(武)委員長より上程文の読み上げ。

- <中島(崇)> 資料ですが、どちらが審議対象資料か参考資料か一度精査してください。次に参加員数計画ですが、メンバー総数が138名となりましたので、変更をお願いします。続いて工夫と効果ですが、合同正副会議とトップ同士の会談で交流をとのことですが、何のためにこの会談を開くのかを細かく記載していただきたいと思います。シナリオという形で審議対象資料に載せていただいています、会議の中身の詳細を精査していただく必要があるのではないのでしょうか、また、これは文言の問題ですが、交流懇親会から始まるくだりに各委員会議会となっていますので委員会会議に訂正してください。それから事業内容の記念品のリンクが中身に添付されているものと違ってしますので修正してください。それから意見と対応の常任理事会の2番を合同理事会ではなく合同正副会議へ変更。英語のシナリオの内容が違うので作成してください。3、11番修正、訂正したとなっているが、何を修正、訂正したかを記載してください。7番の意見と対応ですが、行きたくなるように、もっとわくわくする何か欲しいとなっていますが、対応となっていますでしょうか対応になってないと思いますので訂正してください。9番今回の事業により今後友好がより深く輪のように繋がるように考えました。とあるが、なにをもって輪なのかを考えてください、理事長所信には輪という言葉が出てきません。所信の意をくんだ言葉への訂正をしてください。審査会議6、8番細かく記載をするようにしてください。最後、懇親会のところですが、司会を誰がやるのかなどの設定などもしてください。
- <高松> 日本を何日に出て何日に帰れるのか教えてください。
- <木村(武)> 3日の木曜日に出て6日の日曜日に帰れるように計画しています。
- <飯沼> 議案の数字とローマ字が小文字になっている箇所があるので大文字に統一してください。
- <太城> 相互理解プログラムという日本J Cの力を借りるとのことですが、正副会議、懇親会以外は、LOMメンバーは何もすることがないわけですが、行くだけでなくLOMが行う事業は考えてないのですか。
- <木村(武)> 姉妹J Cとの交流を目的に考えていたので、それ以外は考えていません。
- <太城> 食事だけではないですよ。何かアトラクションがあったりするのですか。
- <木村(武)> パネルゲーム等を考えています。会場がレストランになってしまう可能性があり他のお客様に迷惑が掛かってしまう可能性がある、現在ホノルルチャイニーズJ Cと詰めています。今委員会では英語で例会や事業を行ったりすることを考えています。
- <太城> はじめての事業なので大変だと思いますが頑張ってください。審議対象資料の合同正副会議で使う資料が2013年と2014年と混ざっているので確認をお願いします。
- <梅田> 司会シナリオのなかですがホノルルチャイニーズJ Cの理事長挨拶のところに〇〇理事長となっていますが、理事長名は出ていると思いますので訂正したほうがいいと思います。

<福田(弘)> シナリオは参考資料にしたほうがいいのではないのでしょうか。

<中島(崇)> 参考資料にしたほうがいいと思います。

<山田> 事業目的に地域社会の産業、文化、教育の発展に対して国際的視野にたった両L O M間の親善と友好を深めることを目的としますが、現地のホノルルチャイニーズJ Cではこういった問題を踏まえて、こんな事業をしているとかそういったことを何うチャンスやファンクションがあるのかとおもいました。また、参考資料にある相互理解プログラムマニュアルの中にもありますが、各テーブルに通訳がいて互いのメンバーが自分の国の言語しか話せなくても相互の理解を含めるような設えになっているのでしょうか。

<木村(武)> 相互理解プログラムでは通訳はつきませんが、通訳はつけるつもりです。ただ京都会議でみてきた相互理解プログラムでは絵で表現をしておりましたので、通訳をつけなくても大丈夫だと思います。一応、合同正副会議資料もホノルルチャイニーズJ Cとつくっているが、ホノルルチャイニーズJ C理事長とちゃんとしたアポがとれていませんので話をしたいと思います。

<林> 英語が話せるJ Cメンバーは何人くらいいるのですか。

<木村(武)> 4人ぐらいだと思います。

<村上> ケン理事長との連絡が進んでいると思いますが、向こうからすると、日本から来てくれるということで、何か考えていると思いますので、そこもしっかりとすり合わせをして中身を構築して欲しいと思います。今回の事業は行きたくても行けないメンバーがいるとおもいます。事業費は会費からでていますから、日本に残っているメンバーにも体感ができる何かを工夫しなければいけないと思います。報告議案のみだと理事会構成メンバーしかみられないので、U s t r e a mなどを使ってみるなど考えてほしいとおもいます。

協一〇三 五月第33回わんぱく相撲うつのみや場所開催計画並びに予算(案)について

協議資料に基づき、相馬委員長より上程文の読み上げ。

<中島(崇)> 参加動員計画で1月のメンバー総数の変更をおねがいします。そして300名の参加とありますが、添付書類と内容が合わないと思いますので参加者が増員できる理由説明を一度精査してください。ボランティアの募集理由ですが、市民協働型の第一歩につなげたいと書かれていますが、これは所信と異なりますのでみなおしをお願いします。事業内容のタイムスケジュールが2枚になっていますが1枚にしてください。会場図ですが、スモーキングテントという記載がありますが、前年度からの引き継ぎで敷地内のテントを張っての喫煙はご遠慮くださいとのことなので、どちらなのか記載をしてください。子ども供がメインの事業ですので、喫煙が近くでされることをよく思わない親御様も多数いらっしゃると思いますので、よくよく考えていただければと思います。意見と対応のところ、法令審査の意見と対応が未記載となっていますので、記載するようにしてください。

- <山田> 質問が3点と意見が1点あります。まず質問ですが例会が7時15分、開会8時からとなっていますが、通常8時から開門でお金を払って7時半からは入れるようになっていと思うのですが、管理事務所と手続きや連絡はされているのでしょうか。
- <相馬> 2月5日に総合運動場で説明会があり、その時に確認してきます。
- <山田> 予算書をみると使用料が8時半からの金額となっていると思いますので、1時間の延長料金を考えていただければと思います。続いて意見1つめですが、アンケートについて、議案の対外的にそって事業ができたかの質問があってもいいのかと思いました。たとえば相手を思いやることができたかなど。意見2つ目ですが常任理事会の意見と対応の8番に新たな取り組みとして学生または実業団の力士に協力していただき、幼稚園児の相撲体験会を検討しています。サブ土俵で相撲の楽しさを体験していただくことで、次年度のわんぱく相撲にも繋がる設営を検討します。と書いてありますが、去年は場所中で呼ぶことができなかつたのですが、一昨年春日野部屋の力士の方に来ていただいたので、声をかけてみてもいいのかと思います。また今年は300人を呼ぶとのことで、まわし小屋や待機場所の問題、低学年の子どもたちの管理などの対応を具体的に考えてみた方がいいと思います。最後ですが、例年5月の事前説明会が今年は4月22日ということで2週間ほど早いスケジュールになっていると思いますので、委員会メンバー全員が例年より早く内容を把握しなければならない事を注意していただく必要があると思います。
- <鈴木> スケジュール等は4月にならないと話せない部分があると思います。また親子合わせて750人になるとの予想ですが、まず会場に入りきるのかも考えてみてはいかがでしょうか。また、アンケートですが本年度の期待と効果では目的を達成できたかに関するアンケートになっていますが、アンケートの項目内容が一致してないのではないのではないかと思いますので一度精査していただければと思います。
- <船見> わんぱく説明会の日時が4月22日となっていますが、関東地区の議案ミーティングと一緒に日ですので、日時の再検討はできませんでしょうか。
- <宮林> 事業目的で相撲を通じて、礼節を学び、努力することや思いやりを持つ心を育むことでこの地域に活力を与えます。というところで地域に活力を与えまの繋がりがよくわからない気がします。それと、背景では人間関係を学ぶ機会が必要だとなっていますが、目的では礼節や思いやりを持つ心となっています。その対応はどういったものなのでしょう。
- <相馬> 一度精査致します。
- <飯沼> 予算書の中で郵便局での発送金額が4月から上がります。それは反映されていますでしょうか。
- <相馬> 発送は3月になっていますので5%の計算になっています。
- <中島(崇)> 法令審査の意見と対応が抜けているので記載してください。

- <金> 常任理事会の時に質問させていただいた件ですが、参加推進方法で新たに追加されていますが、たとえばサッカークラブチームが何チームあるのかなど詳しく調査していただければと思います。それと共に新たな団体などに知ってもらう告知方法など考えていただければと思います。
- <木村(武)> 去年ドレスコードでサングラスを頭に掛けている等があったので身だしなみの部分をしっかりと各委員会へ落とし込みをしていただければと思います。
- <青木> 協賛でベルモールがありますが、どんなものを協賛してもらえるのか、また伊藤園、コカコーラで飲み物を協賛していただくと思うのですが、2社あっても大丈夫なのでしょうか。
- <相馬> ベルモールからは商品券伊藤園、コカコーラからはドリンクをお願いする予定です。
- <鈴木> 小学校に直接話す中で、金銭（商品券）は大丈夫なのでしょうか。
- <相馬> 委員会で精査してまいります。
- <豊崎> 参考資料の担当委員会で表彰と警備が協働連携特別会議となっていますが、表彰が例年ごたつくところがあります。人数が少ないのではないのでしょうか、検討いただけますでしょうか。
- <村上> アンケートですが子どもにアンケートをさせるのは無理なのではないかと思えます。どのように検証するかという所からきている事と思えますが、アンケートがすべてではないと思えます。たとえば協議の説明がわかりやすかったかの質問は取組をみていれば挨拶をしていない、反則をしたなど数値化できて検証できると思えます。あとはテレビ放送などできないのでしょうか検討してください

#### 協-04 第33回わんぱく相撲うつのみや場所告知計画並びに予算（案）について

協議資料に基づき、相馬委員長より上程文の読み上げ。

- <中島(崇)> ボランティア募集の審議対象資料なのですが、ボランティアスタッフ大募集と大々的にうたったこのタイトルの後に金券というのは違うかなと思えます。審議し参考資料の第5次宇都宮総合計画ですが、開くと画像が荒いです。容量を軽くすることが目的でこうなったのかをお答えください。
- <太城> ボランティア募集にあたり、応募があった場合面接はするのですか。
- <相馬> 考えています。
- <鈴木> 申し込みが4月30日となっていますが、300人を目指しているのであれば少し大変でも期限を延ばした方がいいのではないのでしょうか

- <廣田> 予算で前回の法令の時に確認させていただいた告知の部分の予算ですが、ポスターの費用が抜けておりますが、こちらはいただける事になったのでしょうか。
- <相馬> その予定ですが確認致します。
- <山田> 審議対象資料の保護者への案内文の中でこども達という表現が間違っている箇所がありますので一度精査していただければと思います。
- <村上> 外に出す文章が多いです。文章がおかしいところがありますので、正式な書き方はどうなのかをみなおしたうえで精査して欲しいと思います。特に教育機関などに送りますので僕らのレベルもみられます。是非よろしくお願ひします。1が主語の部分が多いような気がします。当日くるビジターさんの意見もあるのではないかと思います。

## 15. 報告依頼確認事項

### 報-01 対外出向者について

資料確認

### 報-02 年間公式スケジュールについて

資料確認

### 報-03 会費納入状況について

資料確認

### 報-04 特別会員入金状況について

アジェンダアップ後に入金した方の記入はなし。

### 報-05 ビジター報告

資料確認

### 報-06 ビジター名簿

資料確認

## 報-07 次回開催について

2月26日(水) 19:00～ コンセーレ バンケットホールにて開催。

### 16. 監事講評

<澤畑>

まずは村上理事長、記念すべき第1回の理事会おめでとうございます。予定者がなくなり京都で頑張ってきたのではないですが、臨時理事会は2回程やっておりますけれども正式に通常の理事会は今年一発目なのですが、ちょっと残念なのは病欠が多いということです。

それとやはり新入会員の取り下げというところなのですが、木村副理事長もいっていましたが、会員拡大会議だけでなくLOMメンバー全員で細かく気を遣っていただき一度でも入ってみようかなと思ってくれた方なので、是非ともフォローしていただきたいと思います。今後の11ヶ月間こういった議案をあげる事とのないようにみんなで協力していただければと思います。

その他は初理事の方々も予定者がとれてだいぶ意見も出るようになってよかったのではないかと思いますので、後は先程鈴木委員長もいっていましたが議案をつくり上げますとスムーズな進行に繋がるので宜しくお願ひしたいと思います。以上簡単ではございますが監事講評とさせていただきます。

### 17. 閉会宣言

<中島(崇)>

公益社団法人宇都宮青年会議所  
2014年度 第1回 理事会議事録

議長：(専務理事) 中島 崇

議事録作成人：総務委員会

議事録署名人：村 上 正 高  
                  黒 川 崇  
                  澤 畑 敦 史  
                  飯 野 貴 道